

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成29年度)

[ver.2]

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 131-0032

所在地 東京都墨田区東向島六丁目37番4号

評価機関名 一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

認証評価機関番号

機構 03 - 091

電話番号 03-6657-4511

代表者氏名 代表理事 小池一步

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①		経営	H1101037
	②		福祉	H0701088
	③		福祉	H0602015
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	株式会社学研ココファン・ナーサリー ココファン・ナーサリー花小金井			
事業所連絡先	〒	187-0002		
	所在地	東京都小平市花小金井3丁目1番21-1号		
	TEL	042-451-7020		
事業所代表者氏名	園長 堤 邦江			
契約日	2017 年 6 月 26 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2017 年 9 月 15 日			
利用者調査結果報告日	2017 年 10 月 27 日			
自己評価の調査票配付日	2017 年 6 月 26 日			
自己評価結果報告日	2017 年 10 月 27 日			
訪問調査日	2017 年 11 月 6 日			
評価合議日	2017 年 11 月 21 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	1. 利用者調査は、保護者62人(世帯)に対しアンケート方式により実施し、評価機関が用意した封筒により郵送してもらい、50人(世帯、81%)から回答が寄せられました。 2. 事業評価に当り、経営層及び職員に対し、「第三者評価ハンドブック」を使って事業評価の目的、手順、回答シートの記入要領などを説明しました。 3. 訪問調査は、11月6日(月)に行い、聞き取り調査と併せて、延長保育と食事の場面を含む保育状況全般を観察しました。 4. 評価者はいずれも評価対象事業所とは事業上の関係を有せず第三者性の確保を図りました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>学研ココファングループ企業理念・保育理念 全ての人が心ゆたかに生きることを願い、今日の感動・満足・安全と明日への夢・希望を提供します。</p> <p>保育方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの養育と教育を両論としたこども主体の心と体の育ちの支援 2. 子どもの認知・発達に応じた個別の発達支援 3. 地域社会の全ての子育て家庭に対する、様々な取り組みによる育児支援 <p>学研ココファン・ナーサリーの取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもが本来持っている「育ちのチカラ」を信じます。 2. 子どもの主体的な活動を援助し、子どもの発達を促します。 3. 養護と教育の一体化を実践し、家庭と連携します。 <p>保育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な生活習慣が確立した子 2. 心も体も自立した子 3. 自律した行動がとれる子 4. 他人に対する思いやり、援助ができる子
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <p>①コミュニケーション能力の高い人材 ココファングループが提供するサービスは、個人が単独で提供するものでなく、チームで協力しながら提供していくものです。したがって、相手の考えに耳を傾け理解する姿勢と、自分の考えを相手により良く伝える工夫が必要です。</p> <p>②成功・達成させる信念をもっている人材 ココファングループでは、企業理念・ビジョンの実現に向けて、仕事の成功・達成を求めています。 社員それぞれが成功・達成するためにはどうしたらよいのか？自分はどう行動すべきか、成功・達成するための信念をもち、将来を予測しながら、柔軟な発想で仕事を進める人材を求めます。</p> <p>③責任感がある人材 ココファングループでは、すべての社員個々の職務・ステージに応じて「期待する役割」を設定しています。個々の役割を果たしていくことで個人のスキルアップ・キャリアアップが図られ、ひいてはグループ理念・ビジョンの達成につながるという考えに基づいた人事評価制度を取り入れています。 自らの役割を理解し、強い「責任感」で仕事を完結できる人材には、経験・キャリアを問わず、様々なステージが用意されています。</p> <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <p>①子どもを好きでいてほしい 色々な感情をストレートに出してくる子どもの気持ちを、どんな時でも受け止められるような保育者であってほしい。</p> <p>②プロとしての使命感 プロとして、技術・知識が足りなければ、自ら勉強をして、自分の腕を磨き保育のプロになってほしい。</p> <p>③経験を積み上げる 子どもと過ごしていく日々が積み重なることで、様々な経験をつんでいくことになる。経験という大きな財産を積み上げていってほしい。</p> <p>④仲間を大切に 何と言ってもチームワークが大切な仕事のキーポイントであり、チームワークが取れていないと、こどもをしっかりと育てていけない。自ら、相手を思いやり、大切にしている姿勢が、逆に、相手もそうやっていってくれると思うので。</p> <p>⑤アンテナを張る 社会の動静や今、歌は何が流行っているかなど、保育には無関係に思えるかもしれないが、社会の中で子どもを育てていく私達は社会の動きを察知する必要がある。</p> <p>⑥感性を磨く 歌を聴く、絵を見る、楽器を弾く、色々な所へ出かけて、いろんなジャンルの人と話をするなど、感性を磨くことで心豊かになり、子どもも惹きつけられるので。</p>

[ver.2]

調査対象

2017年9月現在の利用者総数(子ども)73人の保護者62世帯を対象に実施し、50人(世帯)から回答が寄せられました(回答者割合は81%)。

調査方法

保育園から保護者に対し第三者評価の目的などについて説明され、保護者へ利用者調査票と評価機関作成の説明書を配付し、記入後評価機関へ直接郵送してもらう方式で実施し、10月27日締め切りました。

利用者総数	73
利用者家族総数(世帯)	62
共通評価項目による調査対象者数	62
共通評価項目による調査の有効回答者数	50
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	80.6

利用者調査全体のコメント

保育園は、西武新宿線最寄駅より徒歩15分くらいのところにあり、2階建ての園舎で、低年齢児はそれぞれの部屋から直接園庭に出て活動することができます。近くに畑があり、四季折々の野菜を収穫し調理して食事に提供しています。

7
 回答者の総合的な感想は、「大変満足」が12人(24%)、「満足」が30人(60%)、「どちらともいえない」が7人(14%)、「不満」が1人(2%)、「大変不満」はありませんでした。

保育園に対する意見・要望には、「子どもの心身の発達に良い。栄養のある食事・戸外活動・季節ごとの行事などがよい。行事や説明会が休日や夕方が良い。1週間の予定を書きだしてくれるようになってよかった。本の貸し出しが良い。男性保育士がいるのは良い。」のほか、「保育士の不足と定着の悪さ。外遊びをもう少し取り入れてほしい。英語保育ってほしい。リトミック英語があると良い。変更事項をわかりやすくきちんと知らせてほしい。」などの記述がありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	47	3	0	0
回答は、「はい」が47人(94%)、「どちらともいえない」が3人(6%)でした。自由意見には、「いつの間にかできるようになったりと有意義な生活が送れている。歌や絵本、年長のお子さんとか関わるなど様々な活動を通して健やかに成長している。楽しく通っている。」などの記述がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	43	6	1	0
回答は、「はい」が43人(86%)、「どちらともいえない」が6人(12%)、「いいえ」1人(2%)でした。自由意見には、「年齢に合わせて色々な経験をさせてもらっている。」のほか、「ちよっと物足りなさを感じます。参加していない時もある。」という記述がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	40	9	0	1
回答は、「はい」が40人(80%)、「どちらともいえない」が9人(18%)、非該当が1人(2%)でした。自由意見には、「体調に応じて配慮し工夫している。いつもと異なる提供の仕方の食事は、子どもにもうれしい工夫だと思う。」のほか、「素材の産地や安全性、どのようにして作られているのかが伝わってこず、やや不安に思う。」という記述がありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	42	7	1	0
<p>回答は、「はい」が42人(84%)、「どちらともいえない」が7人(14%)、「どちらともいえない」が1人(2%)でした。自由意見には、「近くに畑のあって野菜を育てられるのはとても良い。毎週畑についてナスやトマトに興味を持つようになった。散歩や公園などで遊ぶ機会を確保している」のほか、「外での活動が少ない。遠足などの行事が毎年同じ場所なので残念。動物園など大きな公園に連れて行ってほしい。園庭で夕方の時間帯にも遊べる機会をもってほしい。」などの記述がありました。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	28	5	2	15
<p>回答は、「はい」が28人(56%)、「どちらともいえない」が5人(10%)、「いいえ」が2人(4%)、非該当が15人(30%)でした。自由意見には、「柔軟に対応して頂き、非常に感謝しています。」のほか、「補食にも対応してくれるとありがたい。」がありました。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	32	14	4	0
<p>回答は、「はい」が32人(64%)、「どちらともいえない」が14人(28%)、「いいえ」が4人(8%)でした。自由意見には、「不安に感じたことはない。」のほか、「けがをして子どもが帰ってくるが状況報告があまりない。先生同士のコミュニケーションが取れているのか心配。保育士の人数不足で安全対策が十分かわからない。子ども同士がぶつかることもあり、適切に連絡や処置がされている時とそうでない時がある。看護師に早く来てほしい。」などの記述がありました。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	34	12	4	0
<p>回答は、「はい」が34人(68%)、「どちらともいえない」が12人(24%)、「いいえ」が4人(8%)でした。自由意見には、「以前と比べて連絡が早くなった。アンケートなどで保護者の要望を把握した上で設定されていると感じます。」のほか、「保護者会は6時以降にしてもらいたい。早めに日程を出してほしい。日程はあらかじめわかるが、時間など詳しいことのおしらせが遅い。日程は近隣の学校と調整してほしい。」などの記述がありました。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	36	13	1	0
<p>回答は、「はい」が36人(72%)、「どちらともいえない」が13人(26%)、「いいえ」が1人(2%)でした。自由意見には、「日々様子を伝えたり、伝えてもらい、特に問題ない。先生による。」のほか、「職員の入れ替わり変わりが多く関係を築きにくい(複数)。先生方が忙しそう。担任がいなくて一日の情報がない。保育中という事もあり、じっくりと話せない。先生によってばらつきがある。」などの記述がありました。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	40	7	1	2
<p>回答は、「はい」が40人(80%)と多く、「どちらともいえない」が7人(14%)、「いいえ」が1人(2%)、無回答が2人(4%)、でした。自由意見には、「非常に清潔だと思う。とてもきれい。」のほか、「子どものいる間に掃除機をかけているのが気になる。玄関は土足と上履きのさかいはあまりない。トイレから臭いがすることがある。たまに埃が床に見られる。」などの記述がありました。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	45	2	1	2
<p>回答は、「はい」が45人(90%)と多く、「どちらともいえない」が2人(4%)、「いいえ」が1人(2%)、無回答が2人(4%)でした。自由意見には、「毎日気持ちよく過ごせるのでとても良い。」のほか、「こちらから挨拶をしないと挨拶がない(複数)。」との記述がありました。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	35	13	0	2
<p>回答は、「はい」が35人(70%)、「どちらともいえない」が13人(26%)、無回答が2人(4%)でした。自由意見には、「適切に対応、連絡して頂いている。時に子ども同士がぶつかることもあり、その場合適切に処置(連絡)してくれる時とそうでない時がある。特に報告がなく子どもから聞くこともある。」などの記述がありました。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	28	12	2	8
<p>回答は、「はい」が28人(56%)、「どちらともいえない」が12人(24%)、「いいえ」が2人(4%)、非該当が6人(12%)と無回答が2人(4%)した。自由意見には、「ある程度見守った後仲裁してくれる。」のほか、「先生によってばらつきがある。全部報告をしてくれない。後から青あざを見つけることがある。保育士の目が行き届かないと思っている。」などの記述がありました。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	42	6	0	2
<p>回答は、「はい」が42人(84%)、「どちらともいえない」が6人(12%)、無回答が2人(4%)でした。自由意見には、「保育士に信頼を寄せているように子どもを見ていて感じる。保育士の数が足りないから、目が行き届かないと思っている。先生によってばらつきがある。」などの記述がありました。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	39	4	1	6
<p>回答は、「はい」が39人(78%)、「どちらともいえない」が4人(8%)、「いいえ」が1人(2%)、非該当が4人(8%)と無回答が2人(4%)でした。自由意見には、「書類の管理についての記述がありました。」</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	30	16	2	2
<p>回答は、「はい」が30人(60%)、「どちらともいえない」が16人(32%)、「いいえ」と無回答が各2人(4%)でした。自由意見には、「毎日の口頭でのやり取りや連絡帳を含めわかりやすい。」のほか、「質問には回答してくれるが積極的ではない。何か出来るようになった時には書いてほしいがそれが無い。引き継ぎや伝達が十分でないように感じる。連絡帳には全体の事ではなく、子どもについて知りたい。人により説明が異なることがある。連絡事項が遅い。」などの記述がありました。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	24	14	5	7
<p>回答は、「はい」が24人(48%)、「どちらともいえない」が14人(28%)、「いいえ」が5人(10%)、非該当が5人(10%)、無回答が2人(4%)でした。自由意見には、「要望や伝言について、しっかりと伝わっている。」のほか、「引き継ぎがうまくいっていないのか、回答がないことがある。園長などに話が通じていないことがあった。事務処理の件できちんと対応してくれず本社に相談した。」などの記述がありました。</p>				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	16	6	11	17
<p>回答は、「はい」が16人(32%)、「どちらともいえない」が6人(12%)、「いいえ」が11人(22%)、非該当が15人(30%)、無回答が2人(4%)でした。自由意見には、「知らなかった。第三者委員がどなたか全くわからない。実際の流れを知らなかった。」などの記述がありました。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えて いる <input type="radio"/> 非該当

カテゴリー1の講評

保育理念や保育方針などをホームページや重要事項説明書などに載せています

保育理念や保育方針などを玄関や事務所に掲示しているほか、ホームページに掲載し、また重要事項説明書に記載しています。職員には、保育の道筋を決めている運営会社(以下、「本部」という)が定めた「学研アプローチ」を使用して、入社時や園長研修、職員会議などの場で理解を深めるようにしています。保護者には、入園のご案内や園だより、懇談会で伝えています。保育理念や保育方針は、月例の運営会社傘下のブロック5園の園長会議や全体会議においても定期的に再確認しています。

職員と一体となり、自らの役割と責任を表明し、リードしています

日頃、園長は職員と上からの目線ではなく仲間として協力してやっていこうと考えて行動しています。業務のなかで園長の役割を伝えるとともに、職員一人一人の役割を伝え、OJT研修を実施しています。職員会議では、事業報告書や事業計画書に基づいて、保育理念や保育方針、保育園の運営方針及び取り組みなどを説明しています。家庭との連携を大切にし、子どもが本来持っている「育ちのチカラ」を伸ばし、子どもの主体的な活動を援助する「養育と教育を一体化した保育」の実践に努めています。

重要な案件は、その内容と経緯を職員や保護者に伝えています

本部は、重要な案件、例えば各園共通の諸規程や職員の処遇改善などについてはプロジェクトチームで検討した内容を取締役会で決定し、全体会議や園長会議で報告する手順を決めています。園長会議で報告を受けた園長は、職員会議で決定事項を伝えて説明しています。園内の重要な案件は子どもを中心にしたものが多く、保護者との関係づくりに関するの案件は、リーダー会議や職員会議で検討し決定しています。保育に関わる重要な案件、例えばクラス担任については園だよりや特別な通知を作成して伝えています。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

コンプライアンス・コードなどにより守るべき法・規範・倫理などを周知しています

本部が職員の守るべき法・規範・倫理をまとめコンプライアンス・コードを策定しています。このコードは、守るべき法規の遵守に加え、子どもへの適切な保育サービスの提供、投資家や社員、社会との関係を明示し、職員に配付しています。職員はこのコードについて、DVDによるEラーニングで学んだり、職員会議で読み合わせをしたりして理解を深めています。毎年2回運営委員会を開催し、出席する保護者代表に保育園の運営状況を説明しています。ホームページなどで今回の第三者評価の結果を公表する予定です。

地域への還元という観点から、園庭の開放などが期待されます

地域の子育て家庭を対象に、見学時の育児相談に応えたり、0歳児の保育体験を実施しています。ボランティアの受入はマニュアルに沿って実施し、地域の大学保育学科生を受け入れています。受け入れる際は、保護者に園だよりや「お知らせボード」で知らせています。ボランティアには個人情報の取り扱いに関する誓約書を提出してもらいます。今後、園庭開放や一時保育、絵本の貸し出し、保育園の運動会などの行事への参加を呼びかけるなど有する専門性を地域へ還元する取り組みを充実させることが期待されます。

小平市や近隣の園との連携を図っています

小平市が毎月開催している園長会、年2回の栄養士会、主任会などに参加し、地域の関係機関とのネットワークと交流しています。小平市主催の保育士研修にも参加し受講しています。園長会の主な議題は市役所からの伝達事項、情報交換です。保育士研修では2018年4月1日から施行される新しい保育所保育指針をテーマとして実施されています。地域のネットワーク参加によって、例えば児童虐待などの問題が起きた場合に相談・連携できる体制を整えています。また、園長会を通して近隣の保育園とのコミュニケーションや連携が取りやすくなっています。

カテゴリ-3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評		
重要事項説明書などにより、苦情解決の方法を説明しています 苦情解決のフローチャートを玄関に掲示しています。入園時に重要事項説明書により苦情解決の仕組みについて説明しています。また、進級説明会において重要事項説明書により苦情解決の仕組みを再確認しています。保護者相談室を設け、苦情解決責任者は園長、苦情受付担当者は主任、第三者委員は民生委員としています。個人面談、連絡帳やおたより帳、意見箱などによって保護者の意見や要望、苦情を受け、内容によって本部と連携して迅速な解決に取り組めます。		
アンケートや個人面談から保護者の意向を引き出し、保育に生かしています 運動会などの行事後にアンケートを実施し、保護者の意向を把握しています。本年の運動会アンケートには、全体の時間を短くした方が良いとか、親のみの種目を減らした方が良いなどの感想があり、次年度に生かすことにしています。個人面談や連絡帳、苦情記録簿などを通して保護者から出された意見や要望は、内容によって園長及び主任の話し合いや職員会議で協議するなど迅速な解決に取り組めます。駐車場が一杯のため駐輪場に車を止めたことに対する保護者の申し出には、保護者の意見を取り入れ、園長が玄関に立ち車の移動を伝えていました。		
市の園長会や研修などの機会に地域・事業環境の情報を収集しています 園長は市内私立園長会に参加し、また、市の研修を通して地域の子育て情報の把握に努めています。福祉事業全体の動向は、市主や都などが主催する研修から収集しています。本部から福祉事業に関する最新情報を入手しています。		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(0000)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ-4の講評

理念実現のための5か年計画を策定し取り組んでいます

本部が、2016年から2020年まで5か年計画を策定しています。グループ理念を実現するために、2016年の準備ステージから始め、2018年の中間ステージ、そして計画実現に向けたステージへと進む計画です。2017年、準備ステージでやるべきこととして、採用力や職員の育成力、定着力、育成力などの強化を挙げています。さらに保育ICTや医療ICT、元気シニア、グローバルアカデミーなどの新規事業の軌道化を挙げて取り組んでいます。今後、バックオフィス(支援部門)や経営体制の強化に取り組むことが期待されます。

年間の事業計画を策定し、年度末には事業報告書を作成しています

保育園で年間事業計画を策定し、事業報告書を作成しています。計画には運営方針や保育体制、年間行事予定などを織り込んでいます。ココファン・ナーサリーの取り組みとして、子育て支援を掲げ、保護者とその児童を対象に、育児の不安を取り除き子育ての楽しさ、素晴らしさを分かち合い、親と子がともに学び遊べる親子関係作りのための相談、交流サロン、教室展開事業を実施するとしています。事業報告書には、職員体制や子どもの推移、実施した会議や行事、研修、園庭改修工事終了などを記載し報告しています。

役割分担を決め、定期的に避難訓練や消防訓練を実施しています

役割分担を決め、毎月避難訓練を実施し、地元消防署の指導も受けています。毎年2回(9月と2月)、専門業者に委託して消防設備の点検を実施しています。また、不審者の侵入に備えて訓練を実施しています。感染症マニュアルを用意し、職員会議で周知確認しています。外部の嘔吐物処理に関する研修を受講した職員が、嘔吐処理用品を整備したほか、園内研修を行っています。今回の利用者調査では「安全対策が十分にとられていると思いますか」の質問に「はい」と答えた人は64%にとどまりました。今後、さらなる取り組みが期待されます。

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○ 非該当

カテゴリ5の講評

入社説明会などで必要な人材像を説明し、運営会社と園が協力して人員を採用しています

職員に求める人材像や役割について、入社説明会、新入職員研修や初任者研修で説明しています。職員の評価は、「期待役割シート」により行っています。このシートは、運営会社のすべて職員が共通に身につけるスキルや目標を明示したもので、理念の理解度や結果(業績)などの項目で期首、中間、期末に評価しています。常勤職員の採用は本部で試験と面接を行い、配属に当たっては園長が面接しています。非常勤職員は保育園で面接し採用しています。園内の人員配置は園長が案を作り、ブロックの園長リーダーとの協議を経て、本部の承認を得ています。

期待役割シートや自己評価シートを活用して職員の能力向上に努めています

職員全員が身に付けるべきスキルや目標を記載して「期待役割シート」を使用して、園長が職員と面接し、能力向上に対する希望を聞き、希望に沿った研修を決めています。職員は園長との面談に当たり「自己評価シート」(職員の成長状況を判断する内部資料)で振り返り、園長は、このシートによって職員が保育園の全体的な計画を理解しているか、業務の改善に努めているかどうかを確認しています。研修の受講に当たり、勤務日程やシフト調整を行い、参加しやすいように職員同士が協力しています。研修成果を確認するための振り返りを行っています。

職員ができることと、上司に聞いてやることを明確にし、報・連・相を基本としています

日々の保育の中で、職員でできることと上司に聞いてやることを明確にしています。例えば、病気などの緊急時は、園長に連絡するとともに、医療機関と連絡を取り、対応します。報告・連絡・相談を確実に行うこととしています。職員が判断できない時は、上司と相談し、事故時の対応として保護者へ通報する手順を定めています。研修報告書を回覧し、研修内容を共有しています。期待役割シートによる職員との面接をもとに評価を行い、職員のやる気向上につなげています。有給休暇の取得や時間外勤務の状況を常に確認し、就業状態の改善に努めています。

7			7	
7				
情報の保護・共有				
サブカテゴリ-1(7-1)				
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			評点(000)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している			○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している			○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している			○非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			評点(0000)	
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している			○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している			○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している			○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている			○非該当
カテゴリ7の講評				
<p>文書や記録など情報の重要性や機密性をもとに区分し、パソコンを使い分けています</p> <p>パソコンには、アクセス権限を設定するほか、使い分けています。情報の重要性や機密性をもとに区分し、本部とのやり取りや保護者の情報などは園長が使用できるパソコンと職員が日誌等の情報処理に使えるパソコンを使い分けています。子どもの食物アレルギー情報を含むファイルなど必要な時に使いたい書類は、事務室の鍵付保管庫に収納しています。職員が個別に記入・作成する文書や記録類は、それぞれのファイルに綴じて保管し、最新状態を保つようリーダーや主任、園長が適宜点検しています。</p> <p>重要事項説明書などで個人情報保護について説明しています</p> <p>個人情報保護方針に個人情報の利用目的や漏えい対策、法令の遵守、個人情報保護の高揚、開示請求の手続きなどを規定しています。個人情報保護について、保護者には重要事項説明書によって説明し、職員は入社時に個人情報の取扱いに関する誓約書を本部へ提出しています。個人情報保護について各種の研修を通して理解を深めています。ボランティアや実習生からは、オリエンテーションの際に同意書をもらっています。ホームページのブログに載せる子どもの写真の掲載は、保護者の希望に沿って対応しています。</p>				

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

子どもの安全・安心を実現するという、方向性の統一をもって保育活動を実施できました

①保育園が目指す「子どもの安全と安心の確保」について、方向性を統一・実現するために職員間で話し合いを重ねました。職員一人一人は子どもの事故や感染症などから守るために、自らの役割分担に従って保育を行うことができるようになりました。今回の利用者(保護者)調査には、「子どもが楽しそうに過ごしている様子を見て、とても良い園だと思っています。職員の方はいつもきちんと対応して、子どもも楽しく過ごしているので安心してます。」など保護者の信頼感や安心感が高くなっている様子がうかがえました。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

話し合いを重ね、チームワークを高めて、全体で協力できるようになりました

- ①担当しているクラスだけでなく、横とのつながりを大切に、チームワークを高めるように話し合いを重ねました。
- ②職員が自主的に参加し受講したい研修に参加できるように勤務時間の調整に配慮しました。
- ③行事などを一部の職員だけで行うのではなく、全体で協力して行うようになりました。
- ④縦横のつながりができたことによって、自分のクラスで困っていることがあったとき、周りの職員に相談しやすい環境になりました。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

利用者への情報をわかりやすく提供できるように工夫しました

- ①保護者に子どもの保育の様子を「お知らせボード」に各クラス毎に掲示するにしました。左側には、今週の予定…1週間の散歩・知育・スポチャン・身体検査など書き込みました。右側には、前日の子どもの様子が保護者に判りやすく書き込み、午前中見られるようにしました。また、降園時に保護者が当日の子どもの保育の様子が分かるように書き込んでいます。保護者は子どもの園での様子が分かりやすくなったと感じています。
- ②個人情報保護について、職員の意識を高めるために職員会議や朝礼で話し合いました。
- ③クラスにパソコン1台を用意し、書類の管理をきちんとできるようにしました。
- ④園長が整頓・管理する書類と職員が整頓・管理する書類を区分し、それぞれ鍵付保管庫に収納しました。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

コスト意識の向上により、資金収支は安定的に推移しました

①予算内で運営を常に心がけ、職員へ声かけを重ねてコスト意識の変換を促しました。コスト意識を向上させ、水道光熱費や印刷用紙などの消耗品を中心に多くの経費縮減に努力した結果、資金収支は安定的に推移しました。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

様々な意見や感想に耳を傾け、保護者の意向に沿って取り組んでいます

①昨年度職員の異動に伴い、保護者から様々な意見や感想が寄せられました。本年度、園長や職員は連絡帳やおたより帳、口頭などで意見を聞き、保護者の意向に沿うために、会議を重ねるとともに、保護者へ懇談会や手紙などで説明し、早期対応に努めました。また、意見箱や苦情解決の利用者相談室の利用を積極的に働きかけました。今回の利用者(保護者)調査の結果から、こうした園長及び職員の努力を保護者が評価していることがうかがえました。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>ホームページで利用者の知りたい保育園の情報を提供しています</p> <p>本部のホームページに保育園を紹介しています。メニューの「園について」は、事業所の所在地や連絡先、定員・職員数・開園時間、保育理念・保育方針・保育目標(目指す子どもの姿)・取り組みなどを掲載しています。「1日の流れ」、「主な年間の行事予定」、「良くあるご質問」、「延長保育のご利用について」・地図などの情報を掲載しています。「保育について」では、「育ちのチカラ」を育む取り組み、異年齢交流や多世代交流などについて掲載しています。ブログには子どもの様子を記載し、保護者の見ることができいます。</p> <p>パンフレットを市役所の保育部署に置くなど利用希望者などに情報を提供しています</p> <p>パンフレットは、A43つ折りの形式で、定員や職員・年間行事などを分かりやすく紹介しています。パンフレットは市役所の保育部署の窓口置き、利用希望者が手に取って見ることができます。小平市私立保育園協会発行の子育てガイドブックに保育園の情報が掲載されています。市の担当部署に保育園の空き情報などを報告しています。来年(2018年)の「小平市 保育園入園の手引き」(冊子)にも情報を掲載し配付しています。</p> <p>問い合わせや見学は利用者の希望に出来るだけ合わせて対応しています</p> <p>問い合わせや見学は随時受け入れ、できる限り午前中の子どものが活動している姿を見られるように配慮しています。子どもが活動している部屋に案内し、パンフレットを使いながら園長や主任が説明しています。見学者には両親で来る、もしくは母親が来るなどがあり、また夕方であれば来られないこともあり、希望者に合わせています。2018年度の入園希望者の見学希望が多く、入園希望申請書や一時保育の案内のほか、パンフレットを手渡しています。見学時には、子どもや親の現状を聞いたり、子育ての悩みなど相談できる時間を設けています。</p>		
サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2の講評		
<p>入園開始にあたり基本的なルールや重要事項など面談時に説明し納得を得ています</p> <p>入園が内定した利用者とは個別に面談をしています。「生活の手引き(重要事項説明書)」の内容に沿って基本的なルールや重要事項を説明しています。児童票に子どもの育ちや家族、連絡先・予防注射歴・病歴・かかりつけ医・食事・食物アレルギーなど子どもの状況を記入してもらい、内容を確認しています。重要事項説明書の内容を保護者に説明し納得を得たうえで契約書にサインをしてもらいます。個人面談時に保護者の意向を聞き、記録しています。</p> <p>入園当初、子どもの情報を把握し保育園の生活に慣れていけるように支援を行います</p> <p>子どもの成育歴など記入してもらった児童票(子どもの姿)などを職員会議で読み上げて把握するなど職員は子どもを理解して保育を行っています。子どもが園の生活に早く慣れていけるように慣れ保育を実施しています。基本は1週間ぐらいを目安とし、子どもの保育時間を午前中のみ・昼食まで・午睡までと少しずつ長くし、安心して生活が送れるように配慮しています。できる限りクラス担当が子どもとスキンシップを重ね、一緒に歌を歌ったり、遊具で遊んだりしています。哺乳瓶が必要でミルクアレルギーを持つ子どもにはその状況に合わせています。</p> <p>卒園など退園していく子どもや保護者の不安を軽減できるように支援を行っています</p> <p>家庭の事情などによって途中で退園する子どもや卒園まで通う子どもが生活しています。5歳児は、就学に向けて近隣の小学校に出向き、校舎や授業を見学しています。小学校の周りを散歩するなど子どもが就学に期待を持てるように配慮しています。練習帳などを使い、名前を書いたり、ひらがなを書く練習をしています。また、5歳児には、一人一人の引き出しを用意し、制作途中の絵や練習ノートを仕舞っています。保護者には退園後もいつでも相談に来園して良いことを伝え、子どもにも訪ねて来てよいことを話しています。</p>		
サブカテゴリ3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○ 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○ 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○ 非該当

サブカテゴリ3の講評

子どもの状況は定められた各種様式に記載され子どもの姿を把握しています

児童票には入園時保護者に子どもの健康状態やこれでの生活歴など成長の記録を記入してもらい、入園後は定期的な健康診断(内科)や歯科検診の結果を記録しています。0~2歳児は、家庭と保育園で子どもの様子を記録してやり取りする連絡帳を使い、幼児はノートに必要な時に記入しています。登園時の子どもの様子を記録する登園チェック表のほか、各クラスの保育日誌や早番・遅番に引き継ぐ申し送りノートなどを使って記録を残しています。これらの情報をもとにアセスメントして子どもの姿を把握しています。

法人の保育理念に基づいた保育課程をを基に年間指導計画等を作成しています

本部の保育理念に基づいた保育課程を作成し、これをもとに年間指導計画・月案・週案を作成します。0~2歳児は毎月個別指導計画を作成し、月末に評価して見直し次月のねらいを設定します。年間指導計画は、4半期毎ごとに評価して見直します。クラス担当は、日々の保育の様子から子どものニーズを把握し、また、アンケートや個人面談などで保護者の意見や要望を把握し、保育課程をはじめ年間指導計画、月間指導計画や週案を振り返り、次期指導計画に反映しています。指導計画の内容は保護者に園便りやクラスだよりなどで知らせています。

個別指導計画に基づいて子どもを支援し、記録・共有して次の支援につなげています

0~2歳児と特別な配慮が必強い子どもには、個別指導計画を作成し保育を行っています。前月の子どもの姿を評価・反省し、個人成長記録・児童票などに、人間関係・言葉・表現・環境・健康・その他に分けて子どもの姿を記録しています。こうした評価・反省を踏まえて、次月の個別指導計画を作成し、ねらい、養護・教育の内容、配慮事項、家庭との連携などを織り込み、実行しています。成長していく子どもの姿を分かりやすく記録し、職員会議などで子どもの情報を職員全員が共有するとともに、支援につなげています。

サブカテゴリー5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている <input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている <input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している <input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている <input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている <input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している <input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている <input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評	
<p>子どもと保護者の個人情報の保護について、入園時に説明し承諾を得ています</p> <p>保育の中で子どもや保護者の個人情報は、業務上必要な範囲で利用しています。運動会や発表会などの様子を子どもの成長記録として必要に応じてビデオやカメラで撮影しています。記録を希望しない保護者には、事前・事後に係わらず申し出てもらい、消去または掲示や配付を控え、ホームページでは特定できないように工夫しています。ホームページのブログには日常の生活のなかで子どもの様子を撮影し、コメントを添えて保護者に公開しています。これらの個人情報の利用や掲載について、入園時に保護者の承諾を得ています。</p> <p>一人一人の子どもらしさを大切にされた保育園での生活が出来るように支援をしています</p> <p>子どもの意思を尊重し、子どもの成長を見守っている姿が成長記録の中に残されています。0～2歳児は、個人成長記録及び個人指導記録を作成しています。他の子どもの名前を呼び捨てにしていることに気づいた時はその都度呼び捨てで呼ばないように話しています。「リミックをするよ」と言う職員の呼びかけに、「やりたくない」と言い座って見ていた子どもが他の子ども様子を見て途中から参加してくるなど子どものやる気や意思を尊重しています。トイレで一人で上手にできたことを一緒に喜び、保護者にも伝えるなど無理強いないで進めています。</p> <p>虐待防止などの研修や支援体制を整えています</p> <p>虐待防止や育児困難家庭に対する支援を必要とするケースは現状ではないものの、疑われるケースがあった場合に備えて勉強会を開き学んでいます。疑わしい事例を発見した場合、虐待ケース表に記録し、関係機関に連絡するとともに、本部と連携して対応する体制を整えています。職員一人で判断せずに組織的に判断するように研修で学んでいます。職員の言動についても、否定的な言葉や態度で子どもの気持ちを傷つけないように言葉遣いや行動を取るよう心がけ、保育を振り返っています。園内でDVDやCDを使ったEラーニングを行っています。</p>	

サブカテゴリ-6

6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	11/11
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○ 非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○ 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○ 非該当	
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	○ 非該当	
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	○ 非該当	
●あり ○なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	○ 非該当	
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	○ 非該当	
●あり ○なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	○ 非該当	

サブカテゴリー6の講評

「生活の手引き」(重要事項説明書)を保育サービスのマニュアルとして活用しています

日常の保育に当たり、「生活の手引き」を基本にしています。保育時間をはじめ、登園・降園時のお願い、1日の生活の流れ、家庭との連絡についてなどを明記していることから、保育サービス支援マニュアルと位置付けています。また、本部が策定した保育プログラム「学研アプローチ」には、子どもが主体性を持てる環境設定や一人一人の目標を設定するなかで自主性や社会性を身につけていく、育てたい子どもの姿に沿った環境設定、主体的に活動し安全な保育者の目線などが示されていて、「育ちのチカラ」をサポートしています。

保護者懇談会等の意見などからも保育サービスを見直しています

年度中に保護者懇談会を行い様々な意見交換を行っています。職員に関しては「職員の確保。担任の持ち上がりを希望。お知らせをきちんとしてほしい。」、活動内容については「散歩活動(運動)が少ない。朝の園庭開放、お泊り保育・バス遠足など思い出に残る行事を希望。保育中の様子をもっと知りたい。」などの意見があり、話し合い、保育サービスの改善につなげています。クラスの様子や1週間の予定などを掲示したり、運動系でスポーツチャンバラなどを導入しています。

様々な取り組みによって保育サービスの一定水準を維持しています

職員会議や各種会議・打ち合わせにおいて、保育園が定める基本事項や標準的なサービスの手順などを職員に周知しています。毎日の朝礼や終礼で支援の手順や方法を周知しています。新入職員にはコーチ制度によって主任やリーダーから個別に指導を受けています。職員全員が身に付けるべき能力は、「期待役割リシー」と「自己評価シート」を使って職員の能力向上を図っています。また、本部が職員全員を対象として、Eラーニング(DVD、CDを利用)を実施するなど職員が一定のレベルの知識や技術を修得できるように研修システムを整備しています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子ども一人一人の姿を職員と保護者で共有し、保育を行っています</p> <p>保護者は子どもの生活歴などを児童票に記入し提出します。0～2歳児は、連絡帳によって保護者と保育園が家庭での状況と保育園での状況をそれぞれ記入しやり取りしています。登園時、登園チェック表によって家庭での様子や体調を確認しています。問題があれば朝礼や終礼で職員に伝え、職員全員が子どもの状況を共有しています。保育日誌には、週案に基づいて保育を行った子どもの様子を記録しています。保育の状態を振り返り、発達過程などと合わせて子どもの姿を把握し、次月の指導計画と週案を作成しています。</p> <p>子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることが出来る環境を工夫しています</p> <p>子どもが興味を持って自分で選択できるように年齢に合った玩具を用意するなど環境設定を工夫しています。1階に0～2歳児の部屋があり、遊びと食事のスペースを分けています。区切りを低く設定し、子どもが興味を持って手に触れたりすることができる玩具を備えています。戸外散歩では他の子どもと手をつなぎ、体をゆすったり、走ったり、雨音を聞いて触れてみたり、生き物を見て発見したことを職員と一緒に喜んだりしています。コーナーには子どもが主体的に遊べるように遊具を配置しています。陶芸では土の感触を感じながら自由に創作しています。</p> <p>5歳児の就学に向けて小学校と連携して対応しています</p> <p>小学校の先生と連携して5歳児が小学校体験を行うなどスムーズな就学に繋がるように工夫しています。近隣の小学校へ5歳児と担当職員が訪問し、見学するとともに、小学生の生活を体験しています。戸外散歩の際、小学校の近くのコースを選ぶなど心の準備に配慮しています。また、5歳児は就学時期が近づいてくると午睡時間を短くしています。起きて静かに本を読んだりして過ごします。入学する小学校に保育要録を作成し送ります。特別な配慮が必要な子どもには、保護者の希望に応じて市の「こげら就学支援シート」を作成し手渡しています。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登降園時、保護者との会話や「登園チェック表」などで子どもの様子を把握しています

職員は、登降園の保護者とのコミュニケーションを通して、日々の子どもの様子を伝え合い、子どもの生活が安定したものになるよう取り組んでいます。日々の様子は保護者が記入した「登園チェック表」を活用して一目で子どもの体調を確認できるようにしています。「登園チェック表」には、送迎時間、迎えに来る人、睡眠時間、摂食状況、体温、排便、全体の体調、視診の項目を設け、確認しやすいようにクラスの入りに備えています。夏の3か月間は、プールやシャワーの許諾欄を設けて、プールカードを兼ねられるように工夫しています。

子どもの発達状況に応じて、基本的な生活習慣が無理なく定着するように工夫しています

生活リズムの安定に保護者の希望を優先しています。子どもの発達状態に沿って指導計画を立案し、基本的な生活習慣が無理なく身につくように繰り返し援助しています。毎日発達状態の変化をクラス日誌や個人経過記録に記録し、児童票などとともに個人ファイルに保管しています。合同活動が多い1・2歳児室のトイレは両室の間に設置し、どちらからも入れるとともに、通り抜けられるようになっています。子どもがトイレで排泄できたらシールを貼るといった工夫を取り入れ、トイレトレーニングを楽しく進められるように配慮しています。

「引継事項」という表を活用して、保護者に日々の様子を伝えています

日々の保育において、園長も職員とともに保育に携わり、どのクラスの子どもの様子も把握できるように心がけています。子どもの発達状況を伝えるときは保護者に寄り添い丁寧に伝えるように努めています。降園時は「引継事項表」をもとに保護者に声かけ、子どもの日中の様子を伝えるようにしています。時間帯によって声かけが十分でないこともあるのではないかと感じ、対応策を検討中です。今回の利用者調査にも、様々な意見が見られました。今後の検討に生かすことが期待されます。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○ 非該当
● あり ○ なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○ 非該当

評価項目3の講評

子どもが主体的に遊びを展開できるように、おもちゃや、遊び空間の変更をしています

日常の遊びを観察し、興味、発達に沿って定期的におもちゃを入れ替えています。その都度おもちゃの写真を片付ける場所に貼付することで、自発的に片付けやすくしています。また、本年度、4、5歳児クラスの仕切りを無くし、異年齢で集団遊びもできる大きな空間に変更しました。動的空間と静的空間に分けたことで遊びに変化が起きました。これまで女兒があまり取り組まなかった大きなブロックで男児に交じて活発に遊ぶようになったり、男児が女兒に交じてままごとにじっくり取り組むなどの展開が見られました。

多種多様な表現を子どもが楽しめるようにユニークな活動に取り組んでいます

各部屋に本コーナーがあるなかで、空き部屋を専用図書室に模様替えし、じっくり本に向き合える空間にしました。その部屋には、行事で作った魔法の鏡や誕生日に着るドレスやスーツを飾っています。クラスごとに本の貸し出し曜日を決め、子どもは自分たちの曜日が来るのを楽しみにしています。5歳児は毎月専任講師によるスポーツチャンバラを楽しんでいます。また、本格的な陶芸にも挑戦しています。近隣の美術大学の協力でガラスアートの指導を受けられることになっています。日常的にリトミックや体操、造形遊びを行っています。

広い園庭や日課の散歩で、季節の変化を感じ取れるように援助しています

日当たりの良い約300㎡の園庭を利用して、日々戸外活動を行っています。午前中の日課としている散歩は、豊かな自然や四季を感じられるような場所へ出かけています。訪問調査の日、1・2歳児の散歩に同行しました。手をつなぎ2列に並んで歩き10分程で着いた児童遊園で遊びました。道中、道に落ちていたセミを見つけたり、葉っぱに触ったり、枯れたアジサイを見つけ「アジサイだ」とつぶやいていました。それに応じて、職員は季節の変化を話しました。事前に職員がきまりを話してから遊び始め、遊具の利用や交代が整然としていました。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○ 非該当
評価項目4の講評		
<p>行事は、子どもの興味や関心を引き出して楽しめるように企画しています</p> <p>2017年度の行事は、入・卒園式、誕生会、子どもの日、時の記念日、ピアノコンサート、保育参加、七夕、夏祭り、お泊り会、お月見、祖父母交流会、運動会、芋堀り、ハロウィン、遠足、クリスマス、お正月、豆まき、発表会、ひな祭りです。訪問調査の日はハロウィンの時期で、わざと怖い顔で撮った子どもたちの面白い写真を掲示して雰囲気盛り上げていました。誕生会では、誕生日の子どもだけがドレスアップして記念写真を撮影しています。この写真のプレゼントは好評で、卒園児の保護者が不要になったドレスを寄付してくれるほどです。</p> <p>保護者の意見を取り入れて、保護者参加行事を増やしました</p> <p>行事の内容では、親同士が触れ合い、また、親子で楽しめるように企画しています。開催日は保護者の負担がかからないように土曜日に設定しています。作り物や用意するものなどできるだけ保護者に負担をかけないように工夫しています。行事後にアンケートを取り、意見や要望を聞き取り、次回の行事運営に反映しています。本年度は、保護者の意見を取り入れた新しい「保育参加」という行事が生まれました。保護者から「もっと参加行事を増やしてほしい。行事案内を早くしてほしい。」という意見が寄せられています。</p> <p>勤労感謝の日を「ありがとうの日」にしています</p> <p>保育園は、父の日、母の日の行事を設けていませんが、その代わりに、日々の保護者の勤労に感謝の気持ちを込めて、11月に「ありがとうの日」を設けています。本年度は、11月23日の勤労感謝の日に向けて「ペン立て」を製作し、その前日に保護者へプレゼントしました。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○ 非該当
評価項目5の講評		
<p>延長保育では、日中とは異なる遊びや環境設定を企画し保育を行っています</p> <p>延長保育中のみ使用できる玩具で遊んだり、少ない人数だからこそできる遊びを工夫するなど、長時間保育の環境設定に変化を加えています。子どもは、じっくり、ブロックで遊んだり、細かい作業で折り紙を制作したり、描画やぬりえなどを遊んだりしています。文字や数字のワークブックに取り組んでいる子どももいます。絵本の読み聞かせには、専用の図書室「本のへや」も利用しています。この部屋にはマットが敷いてあり、子どもは座ったり、寝転んだり、思い思いに過ごすことができます。</p> <p>合同保育の時間、異年齢の子どもが活動を楽しみながら過ごせるように工夫しています</p> <p>延長保育の合同保育では、異年齢の子どもが交じり合って活動を楽しみながら過ごせるように工夫しています。乳児は1階の1歳児室で合同に活動しますが、0歳児クラスの子どもは、単独でゆっくり過ごせるように配慮しています。幼児は4歳児クラスの部屋で合同で活動しています。子どもは、絵本をじっくり読んだり、制作活動を満足できるまで行ったり、この時間にしかできないことを中心に取り組んでいます。職員は掃除などの当番を決めて行き、より多くの時間を保育に専念できるように心がけています。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当

評価項目6の講評

子どもが楽しく安心して食べることができるように食事環境を工夫しています

生きていくために「食」を大切に考え、子どもが安心して楽しく食べられるようにテーブルの配置や雰囲気作りに配慮し、子どもと一緒に食事を摂っています。栽培活動を通して野菜が好きになるような取り組みを行っています。成長・発達にあった授乳、離乳、食事マナーなどの定着を個別に援助しています。無理なく箸を使えるようになるため、「お箸検定」を取り入れ、将来にわたって正しい持ち方や使い方ができるように指導しています。乳児のテーブルやいすを見直し、落ち着いて食べられるように環境を工夫しています。

3月には卒園する子どものリクエストに応じて特別メニューで提供しています

専任の栄養士が、年齢に沿った栄養と見た目、食べやすさを考慮してメニューを作成しています。薄味で季節感や素材の味を楽しめるように工夫しています。栄養士は毎年1月の入園面談時に、嗜好や食物アレルギーの有無を把握します。4、5月の献立は、子どもが慣れ親しんだ食材を中心に作成しています。離乳食は、毎月保護者と話し合いながら進めています。行事食では、3月は卒園する子どもからアンケートで聞き取ったすべてを提供しています。中でもバイキングが好評で、飾り野菜などを入れ目でも楽しめるように工夫しています。

年間を通して、0歳児から無理なく食育活動に取り組んでいます

年間食育計画を立案し、0歳児から食育活動を無理なく取り入れていきます。食育として、行事にちなんだ団子作りやおやつバイキングなどに取り組んだり、菜園で四季折々の野菜(きゅうり、トマト、おくら、ピーマン、スイカ、ナス、さつまいも、大根など)を栽培したりしています。第三者評価の中間報告の日は、さつまいもほりの日でした。借り上げた畑に栽培したいものを掘り上げ、食べるだけでなく描画制作にも活用していました。子どもが、「僕ね こんなおおきいの引っ張ってとったよ。」と自慢してくれました。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○ 非該当

評価項目7の講評

子どもが楽しみながら自ら進んで心身の健康を維持できるように援助しています

保育室は、採光や風通しが良く、整理整頓が行き届いた清潔な状態を保っています。子どもに危険が及ばない物の配置、各部屋の施設を心がけています。子どもが健康や安全に関心を持ち、病気やけがの予防を話しています。手洗いやうがいを徹底し、このため手洗いの手順を記したポスターを手洗場に掲示し、正しい手洗いを定着させています。また、本年度、薬品会社の協力を得てうがいに関するイベントを本部傘下の2か所の系列園と共催しました。イメージキャラクターとの握手や写真撮影、クイズなどを楽しみ、うがいと口すすぎの違いを実感しました。

医療的なケアは医療機関と連携し、健康管理は年間保健計画に沿って実施しています

医療的ケアが必要な場合、嘱託医やその他医療機関と連携できる態勢を整えています。年間保健計画に沿って、保健行事、健康管理、保健だよりの作成などを実施しています。年2回の健康診断(乳児は毎月)及び歯科検診は嘱託医に依頼しています。職員は、毎日丁寧に視診し、一人一人の健康状態を把握しています。年2回の身長・体重測定(乳児は毎月)で得られた成長・発達のデータを個人記録に残し、毎月保護者とやり取りする「健康カード」にも記載して保護者に渡し確認印をもらっています。健康カードは、卒業時に保護者に返却します。

保護者と連携して、子ども一人一人の健康管理に取り組んでいます

入園時に配付する「生活の手引き(重要事項説明書)」に、①乳幼児突然死症候群(SIDS)の説明と家庭での注意、②与薬、③学校感染症、④虐待、⑤予防接種、⑥健診などに関する取り組みや注意事項を記載しています。保育園で行うSIDS予防対策として、午睡時の見守り、0歳児は5分おき、1・2歳児は10分おきに呼吸チェックを行い一覧表に記録しています。感染症や不審者の発生情報や対応、行政機関からの通知、特に保護者との連携が必要な事項について、ポスターの掲示、保健便りやクラス便りの配付、口頭などで伝えるようにしています。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○ 非該当
● あり ○ なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○ 非該当
● あり ○ なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○ 非該当
● あり ○ なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○ 非該当

評価項目8の講評

個人面談等で話し合い、個別の子育て事情や就労事情に配慮した支援に努めています

保護者から把握した就労や家庭状況、意向、要望など個別事情に配慮した支援に努めています。また、保護者の抱える悩みや不安の内容によって、専門機関に繋いで対応する態勢を整えています。保護者参加の行事や懇談会は、土曜日や夕方からの時間を設定し、参加しやすいように配慮しています。懇談会で保護者交流ができるような時間を設定することも試みています。今回の利用者調査には、「保護者会は18時以降にしてほしい」という記述(複数)が見られました。

年2回運営委員会を開催し、保護者と意見を交換し、要望などを聞いています

保護者との信頼感関係の構築と維持を図るため、年2回、運営委員会を開催しています。委員会は、各クラス代表の保護者をはじめ、外部の有識者、園長及び本部に担当職員で構成し、運営状況の説明や意見交換に加えて要望などを聞いています。本年度これまでに、委員会での要望に対し、①ブログの発信を週2回から3回に増加、②園庭の整備、③行事の日程や内容の検討、④日常の保育活動の伝え方、⑤ホワイトボードを活用した予定の周知などの改善に取り組みました。入口に意見箱を設置し、投書された要望等にも対応しています。

保護者が保育園の活動へ参加できるように工夫しています

本年度から「保育参加」という行事を取り入れました。保護者に、「保育サポーター」として昼食までの生活に参加してもらい、子どもへの愛情や成長を喜ぶ気持ちを職員と共感できるようにしました。こうした取り組みによって、①保護者が子どもの日常を違う視点で見ること、②保護者同士の交流、③職員との信頼関係の深まりに有効だったと考えています。行事後アンケートも概ね好評で、来年度も継続して実施したいと考えています。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
● あり ○ なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○ 非該当
● あり ○ なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○ 非該当
評価項目9の講評		
<p>自然豊かな環境資源を生かし、子どもたちの生活の幅を広げる活動に取り組んでいます</p> <p>年長児は毎月近隣のデイサービス施設を訪問し、歌やダンスを発表したり、一緒にふれあい遊びを楽しんだりしています。近隣の畑を借り上げ、野菜の種まきから水やり、収穫に取り組んでいます。夏には、トウモロコシを一人ずつ畑に分け入って収穫しました。農家の人に作物の話聞くなど、交流する機会も持ちました。中間報告で訪問した日、台風で延期していた芋ほりで収穫してきた子どもたちの様子を見ることができました。元気よく泥だらけになって帰ってきた子どもたちが誇らしげに「おおきなおいも とったよ」と話してくれました。</p> <p>地域との連携を進め、職員以外の人々と交流する機会を増やしています</p> <p>近隣の保育園や本部傘下の系列園の子どもと交流しました。市民ボランティアや職場体験、実習生を受け入れ、見学者から育児相談にも応えました。園舎の外壁に、「園内コンサートへどうぞ」と地域住民を招待するポスターを貼り、参加を呼びかけました。来年度は、①継続的に近隣住民を招待する園行事を開催すること、②保育所体験、③赤ちゃん教室の開催、④地域の祭事へ子どもが参加すること、⑤在宅子育て家庭への園庭開放などを検討しています。子どもの生活の幅を広げるため、地域に根ざし開かれた保育園にしていきたいと考えています。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-3-2	保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している
タイトル①	経営層がリーダーシップを発揮し、保育園の運営、保育を着実に進めています	
内容①	<p>年度事業計画に、運営方針としての保育理念や保育方針、保育体制、年間行事予定などを記載し、着実に計画を実行しています。保育理念や保育方針は職員会議などで徹底を図っています。園長は、日頃から職員同士がまとまりのある集団となることを心がけ、リーダーシップを発揮して現場を重視した保育園の運営に取り組んでいます。職員は、日々の保育の様子から子どものニーズを、また、アンケートや個人面談などで保護者の意見や要望をそれぞれ把握し、保育課程に基づく年間指導計画、月間指導計画や週案を振り返り、次期計画に反映しています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	多種多様な表現を子どもが楽しめるようにユニークな表現活動を実践しています	
内容②	<p>各部屋に本コーナーを設けているほか、空き部屋を専用図書室に模様替えて、じっくり本に向き合える空間にしました。そこには、行事で作った魔法の鏡や誕生日に着られるドレスやスーツを飾っています。クラスごとに本を貸し出す曜日を決め、子どもは自分たちの曜日が来ることを楽しみにしています。5歳児は毎月専任講師によるスポーツチャンバラを楽しみ、また、本格的な陶芸に挑戦しています。近隣の美術大学の協力でガラスアートの指導を受ける予定もあります。日常的にリトミックや体操、造形遊びを行っています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	地域の多様な資源を生かし、子どもたちの生活の幅を広げる活動に取り組んでいます	
内容③	<p>年長児は、最寄りの高齢者デイサービス施設を訪問し、歌やダンスを発表したり、ふれあい遊びを楽しんでいます。近隣の保育園や本部傘下の系列園とも交流しています。近隣の畑を借り上げ、野菜の種まきをはじめ、水やり、収穫を楽しんでいます。夏は、トウモロコシを一人ずつ畑に分け入って収穫しました。農家の人に作物の話聞いています。施設見学の日、台風のため延期していた芋ほり収穫を終えて帰ってきた子どもたちの楽しげな様子を見ることができました。近隣の陶芸工房で、5歳児は陶芸家の指導を受け、器作りに挑戦しました。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの支援に必要な情報を把握するとともに、慣れ保育を行い、ストレスや不安の軽減を図っています
	内容	保護者から子どもの成育歴など記入し提出された児童票(子どもの姿)や健康診断、保護者の要望などをファイルして保管しています。職員会議で職員全員が一人一人の子どもを理解して保育を行うことを話し合っています。入園直後、安心して保育園に慣れていくように保護者と話し合っており、慣れ保育を実施しています。できる限りクラス担当が抱っこしてスキンシップを図り、歌を歌ったり、コーナーの遊具で遊んだり、絵本を読んだり、テラスに出て気分転換するなど様々に工夫し、子どもが保育園の生活に慣れていくように保育しています。
2	タイトル	言語と表現活動を向上させるため、多様な活動に取り組んでいます
	内容	言語と表現活動を向上させるため、各部屋に本棚を置いているほか、さらに空き部屋を模様替えして専用図書室を設け、じっくり本と向き合える空間にしました。クラスごとに貸し出す曜日を決め、利用率が高まっています。行事で作った魔法の鏡や、誕生日にだけ着られるドレスやスーツも飾っており、癒しの空間となっています。5歳児は毎月専任講師によるスポーツを楽しみ、また、近隣の工房で陶芸に挑戦しました。近隣の美術大学の協力でガラスアートの指導を受ける予定もあります。リトミックや体操、造形遊びなど多様な活動に取り組んでいます。
3	タイトル	保育理念の浸透、目指す保育方針や取り組みを徹底しています
	内容	保育園は、2014年4月開園以来保育に取り組むなかで、2016年4月に職員の異動があり、保育体制に変化がありました。保護者から様々な意見や感想が寄せられたなかで、園長及び職員は保護者の声に耳を傾け、意向に沿って取り組むことに努めています。保育園は本部の指導・支援のもと、保育理念の浸透、目指す保育方針や取り組みの徹底を図りました。園内会議の開催、現場での徹底したOJT、充実した研修の受講、職員同士の協力的な支え合いなど組織力の強化に取り組んでいます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者の意見や要望を取り入れ、保護者が参加しやすい行事の企画・運営が期待されます
	内容	行事は、保護者同士が触れ合い、親子で楽しめる企画を立案しています。日程は、できる限り多くの保護者が参加できるように主として土曜日に設定しています。作り物や準備物などでもできるだけ保護者に負担をかけないように配慮しています。行事後アンケートで意見や要望を聞き取り、次の行事に反映しています。本年度、保護者の意見を取り入れた「保育参加」という行事を実施し好評でした。このように取り組む中で、今回の利用者調査には保護者の様々な記述が見られました。今後、行事の内容や日程について検討に活用することが期待されます。
2	タイトル	安全性に配慮した支援について、保護者の不安解消へさらなる取り組みが期待されます
	内容	安全性に配慮した支援について、例えば、戸外散歩時は職員数を調整し、「園外保育用人数チェック表」に出発時間・人数・散歩先・現地出発・帰園時間や人数を記録しています。また、感染症のまん延防止のため発症した感染症名と人数を掲示しています。今回の利用者調査で、「安全対策が十分に取られているか」という問いに「はい」と答えた人は64%、「どちらともいえない」と答えた人は28%でした。職員の人数不足や子ども同士のぶつかりによる事故などの不安を感じている記述が見られました。今後のさらなる取り組みが期待されます。
3	タイトル	専門性を生かした取り組みなど地域への貢献活動が期待されます
	内容	見学者への子育て相談を実施しています。一方、運動会への地域住民の参加を試みっていますが、不審者侵入対策のため実現していません。これまで園庭の土の性質から園庭開放を見送ってきましたが、本年2月土を入れ替える改修工事を終了させました。今後、園庭の開放の具体化とともに、地域の子育て家庭向けに検討中の赤ちゃん教室(保育体験)のほか、本の貸し出や育児講座、年度事業計画に織り込んでいる一時保育など、保育園が有する設備の開放や専門性を生かす取り組みが期待されます。